

1 題材名 「ひとりでできるよ、やってみよう」

2 題材について

児童A（3年・女兒）は、知的障がいに加え、発達障がいを併せもっている。興味のあることや得意なことに意欲的に取り組もうとする様子が見られ、日々の繰り返しの活動の中では落ち着いて活動できる。一方で、自分の予定や思いと違っていると活動を渋る姿や集中力が継続しない面、最後まで自分一人でやり遂げたという経験が少なく自信のない面が見られる。学校生活では、視覚的な手がかりを基本として着替えやトイレなど自分の見回りのことに一人で取り組もうとする姿が見られるようになってきている。課題学習にも一定時間ではあるが自分のペースで確実に取り組めるようになってきている。コミュニケーション面では、友達や教師との関わりが好きで、自分から積極的に関わろうとすることができる。しかし、発音が不明瞭であることと表出言語が少ないことで言いたいことが相手に上手く伝わらずもどかしい思いを感じたり、自信のなさから教師の指示を待ったりする場面が見られる。そのため、写真やイラストを二語文で表したり、語彙を増やしたりする学習を行っている。

このような実態をふまえ、自分でできることを増やし最後までやり遂げる力、簡単なやりとりを通して自分の思いを伝える力を身につけていく学習活動が必要であると考える。そのためには、本児が興味関心をもち集中力が持続できるよう課題を設定したり、期待感をもって取り組める絵本を使った学習をしたりすることが効果的である。そこで、本題材では、形態や難易度をかえた複数の個別の課題学習に取り組むことにより、自分一人で最後までできたという成功体験を積み上げることができると考える。また、絵本の読み聞かせを行い、絵本についての簡単なクイズに答える学習に取り組むことにより、話を聞く態度、発表する態度、簡単なやりとりができる力を高められると考える。さらに、それらの成功体験を積み上げることで、新しいことにも挑戦しようとする意欲も高められると期待できる。

指導にあたっては、毎回同じ流れで学習を行い、児童が見通しをもち意欲的に取り組むことができるようにする。まず、小集団での絵本の読み聞かせを行い、次に個別の課題学習を行う。読み聞かせの絵本は、言葉の繰り返しや動詞が多く含まれるもの、短文でストーリーがわかりやすいものを用意する。楽しく、集中して聞けるように、抑揚をつけたり、間のとり方を工夫したりする。読み終わった後、絵本の内容の一部を二語文に表し、発表する学習を行う。相手にわかりやすく伝えることができるように、声の大きさに気をつけたり、ジェスチャーを取り入れたりして発表できるようにしたい。また、友達同士で評価しあうことで、「できた！」という思いを感じることができるようしていきたい。個別の課題学習では、集中が続くように5分程度の課題を複数用意する。自分一人で最初から最後まで課題を行うことができたという成功体験を積み重ねるために、一人でできる自立課題を2つ程度用意する。もう少しでできそうな課題も用意し、教師と一緒に丁寧に行い丁寧に学習していくことで確実にできるようにしていきたい。「〇〇をおねがいします。」と依頼したり、課題が終わった時には「できました。」という報告をしたりする場面を設定し、相手に伝える力や、伝えることができたという自信をつけていきたい。また、課題が終わるごとにその場で肯定的な声かけや称賛を行うようにし、意欲を最後まで継続できるようにしたい。最後のお楽しみの活動を励みにして、6個の課題を最後までやり遂げることで、達成感を味わうことができるようにし、あらゆる場面での本人の意欲の向上につなげていきたい。

3 題材目標

- ・ 6個の課題をスケジュールに沿って自分で進めることができる。 【心—（3）、環—（2）】
- ・ 決められた課題を自分一人でやり遂げることができる。 【心—（3）、環—（4）、身—（5）】
- ・ 二語文で教師に依頼や報告をすることができる。 【環—（2）、コー（5）】

4 指導計画

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
課題を自分で進めることができること	教師に課題を依頼しながら、進める。				スケジュールに沿って自分で6個の課題を進める。				10個の課題の中から、スケジュールに沿って6個の課題を取り進める。		
一定時間、集中して取り組むこと	絵本を最後まで聞く。		自立課題に集中して取り組む。		個別学習の課題に最後まで集中して取り組む。						
報告や依頼をすること	「できました。」カードを教師に渡しながら言葉で伝える。			課題ができた時、教師に向かって「〇〇せんせい、できました。」と言葉で伝える。 「〇〇をください。」カードを教師に渡しながら、言葉で伝える。							

5 本時の学習

(1) 本時の目標

対象児童名	本時の目標	指導計画目標
児童A（女兒）	<ul style="list-style-type: none"> スケジュールにそって6個の課題を自分で進めることができる。 働く（スキル） ④簡単な指示を理解する。 一人で2つの自立課題を行うことができる。 働く（気持ち） ②自分の係・役割分担を行い、「自分でできた！！頑張ったら〇〇ができた」という達成感を味わう。 カードを手がかりに、課題完了の報告や依頼をすることができる。 コミュニケーション ②困ったときに支援を求める方法が分かる。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵や写真を見て6個以上の動詞を答えることができる。 (自立活動) 2点結び（交わりのない直線）ができる。 (自立活動) 終止点のある斜線を指示通りに切ることができる。 (自立活動) 絵カードを手がかりに「〇〇をください。」「〇〇に行ってきます。」と二語文で伝えることができる。 (生活単元学習)

(2) 学習の展開

学習活動	○つきたい力 ★教師の支援	評価
1 あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○姿勢を正してあいさつをすることができる。 ★気を付けをしたことを確認してからあいさつをする。 	
2 絵本の読み聞かせを聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ○絵本を見ながら話を聞くことができる。 ★絵本を見やすい位置に座席を設置する。必要に応じて問いかけを行い、注視を促す。 ○挿絵を見ながら、それにあった主語、動詞カードを 	

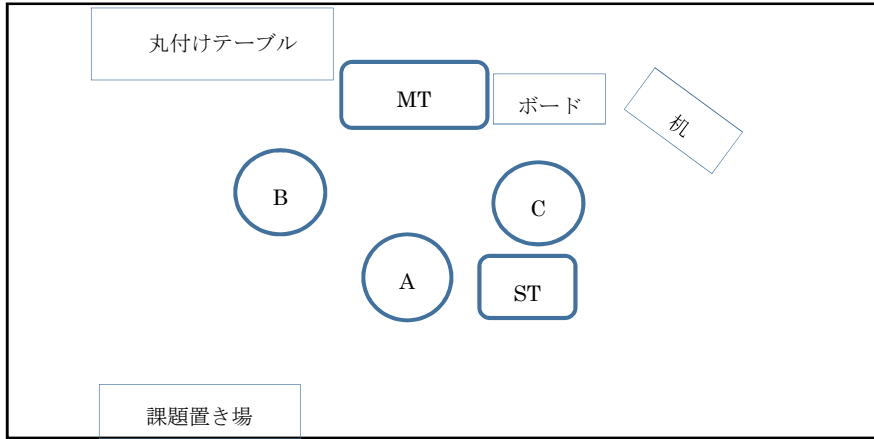
<p>3 個別の課題に取り組む。</p> <p>① 準備をする。 ② 課題を確認する。 ③ 課題に取り組む。 ④ 報告をする。 ⑤ ②③④の流れを繰り返して行う。</p> <p>4 お楽しみの活動を選択して行う。</p> <p>5 あいさつ</p>	<p>選んで発表することができる。</p> <p>★今まで学習してきた動詞カードを複数用意する。 ★相手に聞こえやすい声の大きさを絵カードで確認する。</p> <p>○スケジュールカードを提示された順番に取り、自分で課題を取りに行く。 ★スケジュール表を見やすい位置に提示する。 ★順番に取ることができるよう次の課題には矢印マークを示しておく。</p> <p>○自立課題を一人でやり遂げることができる。 ★自分一人でできるように、一目見てすることがわかるような教材を用意する。</p> <p>○もう少しでできる課題を教師と一緒にやる。 ★ボタンをもつ部分には、マークをつけておく。</p> <p>○カードを手がかりに、「できました。」と課題の完了を報告できる。 ★絵と文字の入った課題完了のカードを用意しておく。報告ができたときには、称賛する。報告が適切でなかった時には、教師と一緒にやり直す。</p> <p>○支援の必要なとき、「お願いします。」「○○をください。」と依頼を伝えることができる。 ★課題の中から鉛筆またははさみを抜いておき、依頼する場を設定しておく。 ★自分から教師に依頼できた時は、大いに称賛する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○目と手の協応 ・はさみでの直角切り ○書字 ・2点結び ○言語表出 ・動詞理解 ○自立課題 ・色板パズル ・色の弁別 ○もう少しでできそうな課題 ・ボタンはめ</p> <p>※課題の順番は当日変わる。</p> </div> <p>○自分のやりたい活動を選択できる。 ★好きな活動の写真カードを用意しておく。</p> <p>○姿勢を正して挨拶することができる。 ★がんばりを称賛し、次時への意欲付けをする。</p>	<p>・6個の課題をスケジュールにそって自分で進めることができる。</p> <p>・決められた課題を自分一人でやり遂げることができたか。</p> <p>・カードを手がかりに、「できました。」「○○をください。」と課題完了の報告や依頼をすることができたか。</p>
--	---	---

(3) 準備

絵本、質問用ボード、個別のスケジュール、個別の課題、コミュニケーションカード、ホワイトボード（スケジュール提示用）、i P a d

(4) 場の設定

【1 あいさつ～ 3 絵本の読み聞かせ】



【4 個別学習～ 5 あいさつ】

